

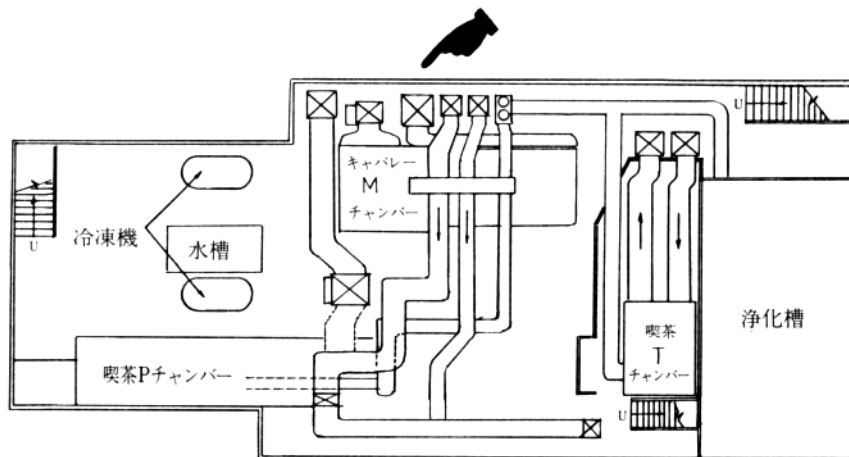
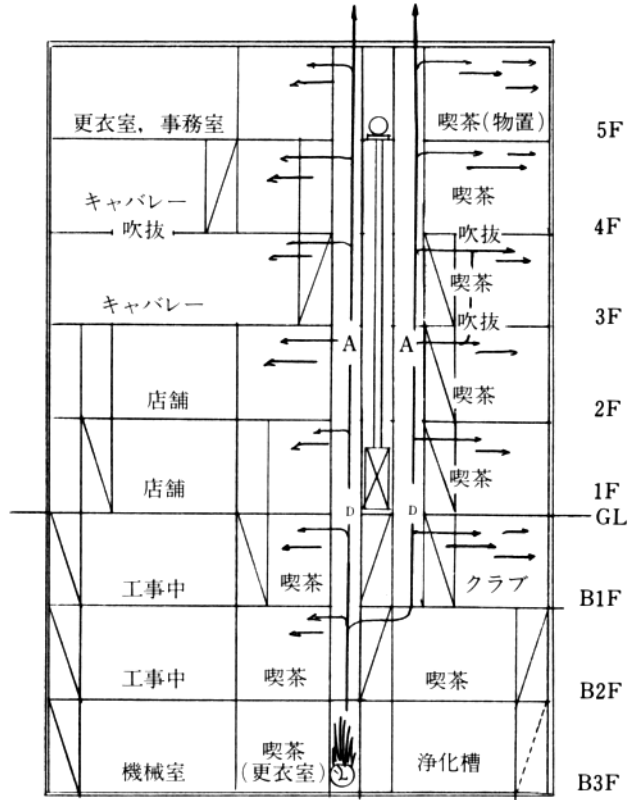
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積) 延 面 積	死 傷 者
林ビル 東京都渋谷区 宇田川町75	複合用途 (16)イ	昭和44年1月18日	耐火 Ⅲ	全・④・部・小	死者
		出火13時52分ころ 覚知13時58分 覚知別 報知電話 鎮火17時10分	建 334m ² 延 2,383m ²	740m ² (30%)	0名 傷者 2名 (2)

I 火災概要								
① 概要	この火災は、各種飲食店が混在する雑居ビルの暖房用火気設備の維持管理不良が起因となつて出火し、空調ダクトシステムを主な延焼媒体として全館に燃え拡大したものである。							
② 階別状況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者 ()は従業員の内数	死者	避難設備等	消防用設備等
	5	226.2	226.2	事務室更衣室	7(5)		救助袋 4F1箇所	④ B2~1F 各1箇所 2F 3箇所 3F 2箇所 4F 3箇所 5F 1箇所 ④ ⑤
	4	334.5	126.8	キャバレー喫茶店	0			
	3	334.5	130.6	キャバレー喫茶店	17(2)			
	2	320.2	16.2	飲食店喫茶店	60(10)			
	1	334.5	16.2	飲食店喫茶店	45(18)			
	B1	320.2	198.7	喫茶店クラブ	22(2)			
	B2	316.0	25.6	喫茶店	77(7)			
	④	197.0		機械室	0			
	合計	2,383.1	740.3		228(44)	0		
③ 出火場所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・(非居室)、在・(不在)) ○地下3階機械室内のメトロ系空調送風ダクトの防震キャンパス付近から出火 ○ダクトには保温材のテックスが被覆され、ダクト内には粉塵が付着していた。					④ 出火原因		

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<p>(出火部位)</p> <p>地下3階機械室 エアークャンバー内</p>	<p>(出火部の拡大)</p> <p>ダクト内の粉塵に着火し保温用テックスに燃え移る</p>	<p>(上階への拡大)</p> <p>ダクト内の粉塵及びテックスを伝わり最上階まで延焼するとともに、ダクトスペースの壁材やその付近の天井材に着火拡大した</p>
	<p>地下3階機械室のキャバレーM系送風ダクトの防震キャンパス付近で出火し、ダクト保温材のテックスを燃やしなが、ダクトスペースを上方に延び始めた。地下2階に到達してからは、ダクトスペースの壁材や付近の天井材を燃やして延焼拡大し、ダクトスペース内にドラフトが生じ、さらに上階への延焼を助長した。一方、喫茶T系への延焼は、地下1階の喫茶P・キャバレーM系ダクトスペースから、天井裏及びブロック壁のダクト貫通部を経て延焼し、木造のダクトスペースに燃え移って上階へと拡大していった。</p> <p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダクトスペースの壁が可燃材であり、各階ごとの防火区画もなく、さらにダクトスペースと各階の天井裏との間にも防火区画がなかったため、煙突状態となったダクトスペースを急速に上昇拡大した。 ○喫茶P側から喫茶T側への延焼原因となった地下1階ブロック壁のダクト貫通部は、埋戻しがなされていなかったため、ここより延焼拡大していった。 ○ 煙の伝播経路 <p>キャバレーM系ダクトから発生した煙は、ダクト及びダクトスペースを伝走して、喫茶P側の各階に拡散し、一方、地下1階から喫茶T側への延焼に伴い、喫茶T側ダクト及びダクトスペースにより各階に拡散していった。</p>		
II 火災建物概要			
① 建築	<p>着工・竣工又は主たる改築等</p> <p>(竣工) 昭和31年12月 日 (増築_{5階}) 昭和39年 月 日</p>		
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況	
	<p>階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/></p> <p>エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>○直通の避難階段が設置されていなかった。</p> <p>○ダクトの埋戻しが不完全であり、ダクトスペースは喫茶P側が防火構造、喫茶T側が木造で囲まれていた。</p> <p>○ダクトの各階区画なし、防火ダンパーは喫茶T側の1階部分の送風ダクト内に1ヶ所のみであった。</p>	<p>○防火管理者は選任されていたが、消防計画は樹立されていない。</p> <p>○消防訓練は実施されていない。</p>	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等	
	<p>○地下1階から上は、ダクト部分を除いて喫茶P側と喫茶T側との間に耐火構造の壁があるが、地下2・3階には区画はない。</p>	<p>○屋内消火栓は、ポンプ故障のため使用不能であった。</p> <p>○自動火災報知設備は店内改装のため撤去したままであった。</p>	

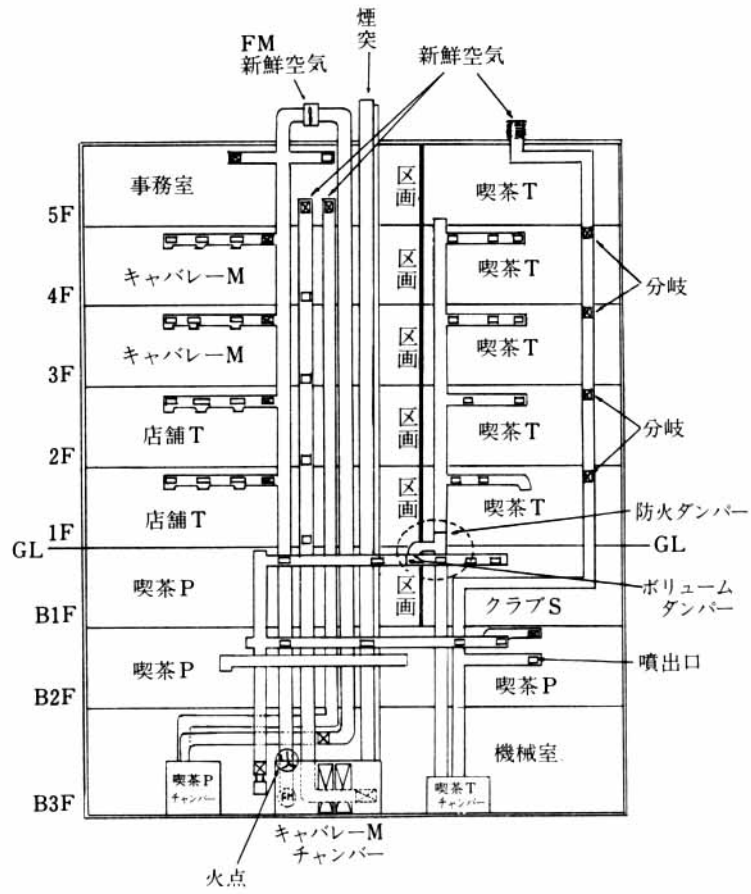
III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (店員及び工事業者) ○発見の動機 (煙とにおいに気づく) ○発見後の行動 (火点をさがし、通報・消火等を行う)</p> <hr/> <p>喫茶Pの地下1階にいたボーイや、1階のT寿司店員及び地下1階の工事業者主任等は、臭いやダクト吹出口及びダクトスペース付近での煙に気づき、それぞれ地下2階、地下3階へと確認に行くと、配電盤の上の方に小さい炎がみえたため、喫茶Pのボーイが通報し、改装工事中の作業員が初期消火に当たった。</p>					
② 通報状況	<p>通報 した <input checked="" type="checkbox"/> (地下1階喫茶店のボーイが通報) 発見後約(4～5)分 しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>喫茶Pのボーイが加入電話で通報しているが、煙を発見してから地下3階まで降り、空調機の点検やガスの元栓の始末などを行った後であるので、時間的には発見後4～5分経過しているものと思われる。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消火した</td> <td style="width: 30%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 55%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) 改装工事中の作業員が火煙発見後、バケツリレーで水をかけた後、泡消火器で消火したが効果はなかった。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 改装工事中の作業員が火煙発見後、バケツリレーで水をかけた後、泡消火器で消火したが効果はなかった。	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 改装工事中の作業員が火煙発見後、バケツリレーで水をかけた後、泡消火器で消火したが効果はなかった。				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等) ○無窓建物のため、消防隊の外部進入が困難であった。 ○直通階段がないため、消防隊の内部進入に支障をきたした。</p>					

	避難方法	避難上支障事項														
⑤ 避難状況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (228人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>														
⑥ 死者の状況	<table border="1"> <tr> <td>健康人</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>病人</td> <td>名</td> </tr> </table>	健康人	名	(泥酔者)	名	要保護者	名	乳幼児	名	高齢者	名	身体不自由者	名	病人	名	避難上支障となった事項 ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
健康人	名															
(泥酔者)	名															
要保護者	名															
乳幼児	名															
高齢者	名															
身体不自由者	名															
病人	名															
	なし															
IV 問題点・教訓等																
<ol style="list-style-type: none"> 火気設備及び空調機の構造が不完全で、かつ、破損したまま使用されていた。また、メンテナンスも行われておらず、従業員も取り扱い方をよく知らなかった。 ダクトの埋戻しが無く、また、ダクトスペースの構造が可燃材で造られていたため延焼要因となった。 避難階段としての直通階段が設置されていなかった。 設置されていた屋内消火栓は故障により使用不能であり、自動火災報知設備は内装工事のため撤去したまま、消防用設備等の維持管理が全くなされていなかった。 喫茶T側送風ダクトの1階部分に防火ダンパーが設置されており、喫茶P側からの延焼によりダンパーが作動したが、延焼防止に何ら効果がなかった。 																



地下3階

ダクト断面図



B1F(点線部分)防火区画のダクト貫通部

